

8月から新しい看護師さんが着任しました!

8月1日から11月30日まで朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の片岡夏美さんです。片岡さんは中学生のときに祖母の病気がきっかけで看護師を目指しました。趣味は音楽で、特にロックが好きという片岡さんは、よく音楽フェス(祭典)巡りをしています。朝日診療所では、多くの患者さんとコミュニケーションを図りながら、採血や点滴を学びたいそうです。「精一杯、笑顔で頑張るので見かけたら声をかけてほしい」と話す片岡さんをどうぞ宜しくお願いいたします。



かたおか なつみ
片岡 夏美さん
(出身/会津坂下町)

広報ただみ診療所

朝日診療所

所長 若山 隆



「高齢者の運転免許」

皆さんこんにちは。診療所所長の若山です。7月から始まった火曜夕方外来も無事継続できております。ご都合が合う方は、ぜひご利用ご検討ください!

今回は高齢者の運転免許更新のお話をします。2017年3月に道路交通法が改定され、75歳以上の高齢者の運転免許更新に関しては大幅な変更がありました。75歳以上の方が運転免許の更新を行う際には、認知機能検査(講習予備検査)を受ける必要があります。対象の方は運転免許更新の6か月前までに自宅に通知が届くようです。教習所などで30分間の検査を受け、結果は①記憶力・判断力が低くなっている②記憶力・判断力が少し低くなっている③記憶力・判断力に心配ありませんの3種類があります。このとき、①の一番悪い結果であった方は、医師の診断書(認知症に関して)が必要になってきます。運転免許更新時でなくても、特定の違反行為があった場合、臨時的認知機能検査が同様に行われ、結果によっては診断書が必要になることがあります。朝日診療所でも、運転

免許更新時の診断書作成の対応は行っています。しかし、認知症の診断は年相応の物忘れとの境界があいまいで非常に難しいです。定期的な通院のない方や、診断に困る場合などは専門医での相談を勧めさせていただきます。無事に認知症でないと診断できる場合はよいのですが、実際に相談に来られる方では、認知症の疑いがぬぐい切れない場合がほとんどで、その際は半年後の再検査が必要になってきます。もしも認知症と診断され、その診断書を提出してしまうと、運転免許停止・取り消し処分となってしまいます。そのようになる前に、運転免許自主返納をお勧めします。免許の自主返納をすると、各自治体で特典があります。只見町では雪んこタクシー券100枚という特典がもらえます。

どんな方でも、いつかは運転できなくなる日がきます。大きな事故を起こしてからでは遅いので、早めに対策を立てるようにしましょう。

地域おこし協力隊として 只見町教育振興協力隊

vol.34

みねぎし つとむ
峯岸 努



「降ってくる」もの

最初に引っ越し荷物を運んできたときには「雪」が降っていました。夜、帰宅して空を見上げると、北斗七星のわき流れ星が流れていき、まさしく「星降る夜」です。洗濯物を干そうと意気込んだら、「雨」が降ってきました。空梅雨と言われ、国道の電光掲示に「水がピンチ!節水を!」と赤字で表示されていたことがウソのようです。稲妻で目が覚め、雷鳴で眠れない夜もあります。ある日、夕方薄暮のころ、目の前に黒いものが「降って」きました。足元へ目を移すまでの間、頭の中では色々な考えが巡り

ます。雨は、降る。雪も降るけど今は季節ではない。星が降るのは比喩であって、本当に星が降ってきたら、それは隕石か天体衝突で、こんなに余裕があるはずはない。ネズミは家で見たけど、あれは横移動だ…。意を決して足元を見ると、立派なノコギリクワガタでした。翌日の朝、別の場所でカブトムシがのんびりと歩いていました。これも降ってきたのでしょうか。東京では、レジ袋、時には高所作業用の足場が降ってきたりして、命に関わります。「自然が豊か」を生活実感で感じる只見での毎日です。